

# 文化振興専門員について

鶴岡市教育委員会

令和2年10月12日

# 1 文化振興専門員の設置に係る経過について

## 文化振興専門員設置の目的

大宝館の施設の役割の拡大と新たな活用の仕方や、鶴岡公園周辺に存する文化財が相互に密接に関連しあうような連携策、酒井家入部400年記念事業への対応に知見がある方から、指導・助言を受けて解決策を講じる。

◆市の非常勤特別職として下記に知見のある方に、平成31年4月1日付けで委嘱

## 文化振興専門員の要件

本市の歴史や文化、風土、気質に精通

中心部に位置する主要3施設、大宝館、致道館、致道博物館の入館者の傾向や施設に対する意見要望等を把握

文化財施設の保存管理に精通

学芸員としての専門性を活かし、知識や経験に基づき指導、助言

## 文化振興専門員設置に係る経緯

### ■平成28年12月22日 大宝館活用計画策定ワーキング開催（庁内会議）

- ・目的：平成29年度、30年度に予定されている大宝館での大規模修繕に合わせて、活用計画を検討する。
- ・庁内メンバー：観光物産課、都市計画課、藤沢周平記念館、社会教育課
- ・主な意見：観光施設としての役割が大きく、観光案内機能が必要  
来館者からは休憩スペースの要望が多い  
建物の中が、夏は暑く、冬は寒い状況

### ■平成30年9月から10月 平成31年度予算要求に向け社会教育課内部での協議

- ・周辺の文化財施設と上手く周遊されていない  
➢鶴岡公園周辺の文化財施設との連携方策が必要
- ・酒井家入部400年記念事業に向けて  
➢歴史と文化を顕彰し、学びの機会の創出に繋がる環境の整備が必要

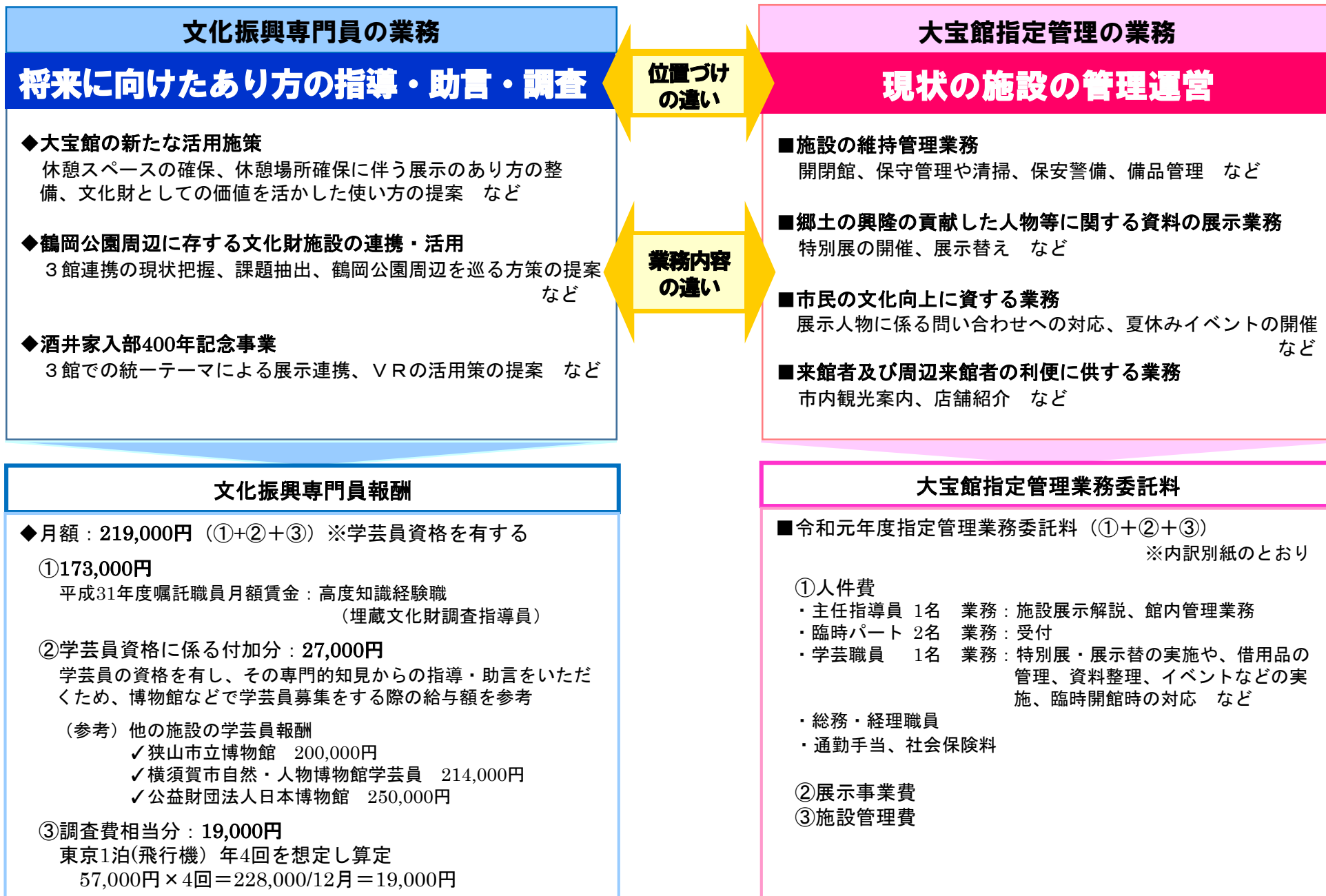
## 課題解決を図るため

文化振興専門員を配置することを教育委員会内での協議を経て予算要求



予算査定を経て予算案に計上し、議会に上程

## 2 文化振興専門員と大宝館指定管理業務の位置づけ、内容の違い



# 3 文化振興専門員業務の成果と評価

## 令和元年度依頼

### ■大宝館の休憩スペース場所と場所確保に伴う展示のあり方

- ・大宝館の文化財価値を活かした休憩スペースの場所の選定と展示方法を含め1階、2階の使い方

## 成果

- ①報告書「日本一の人物資料館を目指して」【A4：8ページ】
- ②企画書「大宝館」人物資料展示リニューアル整備【A4：23ページ】
- ③基本設計書「大宝館人物展示リニューアル整備」【A3：64ページ】

## 評価

長年の課題であった休憩スペースの確保と、それに向けた展示のあり方の解決策を得た

## 成果の反映

### ■実施内容を庁内で検討

- ・1階に休憩スペースの設置
- ・1階展示場所のレイアウト変更（ショーケース撤去等）
- ・休憩スペースへの冷暖房設備の設置

## 令和元年度、令和2年度の業務内容・状況

依頼業務	令和元年度			令和2年度 (依頼していること)
	(依頼したこと)	(成果)		
大宝館活用策	・大宝館の休憩スペース	②企画書「大宝館」人物展示リニューアル整備	実施に向け 検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩スペース設置に伴う工事</li> <li>・レイアウト変更（ショーケース撤去）・休憩スペースへの冷暖房設置</li> </ul>
	・展示方法を含めた1階、2階の使い方	③基本設計書「大宝館人物展示リニューアル整備」		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・分散型展示の可能性</li> </ul>
鶴岡公園周辺の文化財・文化施設の連携活用策	・大宝館、致道館、致道博物館の連携に向けた課題・解決策	①報告書「日本一の人物資料館を目指して」連携展示、3館連携のツール開発等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3館の現状把握、課題抽出</li> </ul>
	・鶴岡公園周辺の文化遺産を活用した観光のあり方	①報告書「日本一の人物資料館を目指して」鶴岡公園散策と大宝館、致道館見学、致道博物館への流れをつくる等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3館や鶴岡公園周辺を巡るための方策（大人、子ども（親子））</li> </ul>
酒井家入部400年記念事業に関すること				<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宝館、致道館、致道博物館との展示連携策、統一テーマ等</li> <li>・大宝館、致道館での400年に関する展示内容</li> <li>・VR等の活用策</li> </ul>



成果①報告書



成果②企画書



成果③設計書

## 【令和元年度予算要求における大宝館指定管理業務委託料 算定内訳書】

項目	支出科目	内容	金額	摘要
人件費	賃金	主任指導員	1,740,000	施設展示解説・館内管理業務(週5日) 145,000円×12ヶ月
		臨時パートA	1,368,000	受付(週4～5日) 800円×7.5h×19日×12ヶ月
		臨時パートB	1,080,000	受付(週3～4日) 800円×7.5h×15日×12ヶ月
		学芸職員	1,008,000	展示企画・展示作業・臨時開館等 @1,500円×8h×7日×12ヶ月
		総務・経理職員	368,640	1,280円×24h×12ヶ月
	通勤手当	通勤手当	102,000	主任指導員通勤手当8,500円×12ヶ月
社会保険料	労働保険 雇用保険 等	734,083		
人件費計			6,400,723	①
展示事業費	報償費	展示資料経緯費	30,000	展示資料・遺品提供御礼
	旅費	旅費	5,000	旅費
	需用費	消耗品費	300,000	事務用品・新聞費・コピー代
		印刷製本費	320,000	展示説明・写真パネル
	委託料	委託料	40,000	写真パネル製作委託料
賃借料	パソコン・プリンター賃借	99,600	パソコン、カラープリンター	
展示事業費計			794,600	②
施設管理費	燃料費	燃料費	70,000	白灯油
	修繕費	修繕費	96,000	突発的な修繕
	通信運搬費	通信運搬費	200,000	電話料、インターネット回線使用料等
	手数料	手数料	10,000	クリーニング代
	委託料	委託料	946,920	警備委託、清掃委託、自火報設備点検等
施設管理費計			1,322,920	③
小計			8,518,243	④(①+②+③)
事務経費			298,139	④×事務経費3.5%
合計			8,816,382	
消費税			791,618	4月～9月8%、10月～3月10%
総合計			9,608,000	端数切捨て